

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月14日

上場会社名 トレンダーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6069 URL <https://www.trenders.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒川 涼子  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 田中 隼人 TEL 03-5774-8876  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,434	△46.0	185	△57.2	185	△58.4	122	△60.6
2023年3月期第1四半期	2,657	65.8	433	111.8	446	120.0	310	129.6

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 133百万円 (△57.3%) 2023年3月期第1四半期 313百万円 (131.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	17.03	16.19
2023年3月期第1四半期	43.33	41.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5,391	3,173	58.8
2023年3月期	5,428	3,377	62.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 3,171百万円 2023年3月期 3,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	0.00	—	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,215	△31.6	1,150	13.7	1,150	12.5	780	10.0	108.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	7,632,000株	2023年3月期	7,628,800株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	455,885株	2023年3月期	433,785株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	7,193,946株	2023年3月期1Q	7,174,302株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループが属するインターネット広告市場は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があった中でも社会のデジタル化にともなって着実な成長を続け、2022年の市場規模は3兆912億円（前年比14.3%増）となり、日本の総広告費の43.5%を占めております。また、2022年の日本の総広告費は前年比4.4%増の7兆1,021億円で、調査が開始されてから過去最高となりました。（※1）インターネット広告が広告市場全体を支え、牽引している状況といえます。

インターネットが社会全体のインフラとなっている現在、インターネットでアクセスできる各種プラットフォームやWebサイト、Webサービス等は、生活者にとって欠かせない情報源であり、中でも、多種多様なアカウントより発信される情報をリアルタイムで入手できるSNSは、生活者の意識や購買行動に与える影響力を増しております。企業においても、SNSを活用したマーケティングに注力する動きが加速しており、2023年のソーシャルメディアマーケティングの市場規模は、前年比17.0%増の1兆899億円と拡大する見込みです。（※2）

（※1）出典：株式会社電通「2022年 日本の広告費」

（※2）出典：サイバー・バズ/デジタルインファクト調べ

こうした環境のもと、当社グループにおいては、事業の選択と集中を図りながら、更なる成長を見据えた事業投資を実施しつつ、顧客企業及び生活者のニーズに合致するSNSを軸としたデジタルマーケティングソリューションの開発・提供に注力いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	1,434,167千円（前年同期比46.0%減（※3））
営業利益	185,858千円（前年同期比57.2%減）
経常利益	185,572千円（前年同期比58.4%減）
親会社株主に帰属する四半期純利益	122,513千円（前年同期比60.6%減）

（※3）上記の売上高の減少要因としては、当期首より、マーケティング事業の一部取引について契約内容の変更を行い、売上高がグロス（総額）計上からネット（純額）計上となった影響（前年同期比32.7%減）を含んでおります。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

## ①マーケティング事業

マーケティング事業は、「美容マーケティング領域」「メディカルマーケティング領域」の2領域から構成されます。各領域の内容は以下の通りであります。

## &lt;美容マーケティング領域&gt;

主に美容カテゴリの顧客企業に向けたSNSマーケティング支援

## &lt;メディカルマーケティング領域&gt;

美容クリニックに向けたマーケティング・運営DX支援とクリニック専売品の開発・販売

本事業においては、事業の選択と集中によって美容カテゴリ以外のインフルエンサーサービスや自社メディアにおいて減収となった一方、堅調なSNSマーケティング需要を背景として、美容カテゴリのインフルエンサーサービス及び自社美容メディアであるMimiTVが好調に推移してまいりました。

また、当期及び来期を投資期と位置づけてMimiTVにおける大型プロモーション施策を実施し、広告宣伝費が大幅に増加しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	1,406,244千円（前年同期比39.5%減（※4））
セグメント利益	187,750千円（前年同期比48.9%減）

（※4）上記のマーケティング事業の売上高の減少要因としては、前述のとおり、一部取引について契約内容の変更を行い、売上高がグロス計上からネット計上となった影響（前年同期比37.4%）を含んでおります。

## ②インベストメント事業

インベストメント事業は、保有する資金を効果的、効率的に運用するため、非上場会社等への投資を行っております。

本事業においては、営業投資有価証券として保有する社債の利息収益が発生いたしました。また、前第1四半期連結累計期間においては営業投資有価証券の売却による売上高及び利益を計上しましたが、当第1四半期連結累計期間においては売却案件が発生しませんでした。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下の通りとなりました。

売上高	27,923千円（前年同期比91.6%減）
セグメント利益	27,448千円（前年同期比70.7%減）

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は5,391,314千円（前連結会計年度末比37,353千円減少）となりました。主な要因は、売掛金の増加があった一方で、法人税等の納付、配当金の支払、自己株式取得に伴う預金の減少があったことによるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は2,217,945千円（前連結会計年度末比167,220千円増加）となりました。主な要因は、未払法人税等が減少した一方で、買掛金及び短期借入金が増加したことによるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は3,173,369千円（前連結会計年度末比204,574千円減少）となりました。主な要因は、配当金の支払及び一般社団法人涼香会の連結に伴い利益剰余金が減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました内容から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,513,712	1,018,098
受取手形及び売掛金	1,251,542	1,596,779
営業投資有価証券	2,157,577	2,068,136
商品	38,826	37,675
仕掛品	33,246	28,073
その他	172,216	320,391
貸倒引当金	△1,267	△1,580
流動資産合計	5,165,854	5,067,573
固定資産		
有形固定資産	52,751	50,903
無形固定資産		
のれん	20,193	81,010
その他	52,567	53,199
無形固定資産合計	72,761	134,209
投資その他の資産	137,301	138,627
固定資産合計	262,814	323,741
資産合計	5,428,668	5,391,314
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	698,288	907,487
短期借入金	800,000	900,000
未払法人税等	219,823	52,722
その他	313,011	328,120
流動負債合計	2,031,122	2,188,330
固定負債		
資産除去債務	19,602	19,614
その他	—	10,000
固定負債合計	19,602	29,614
負債合計	2,050,724	2,217,945
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	568,365	568,905
資本剰余金	548,854	549,394
利益剰余金	2,571,137	2,380,476
自己株式	△297,714	△324,146
株主資本合計	3,390,642	3,174,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,004	△3,554
その他の包括利益累計額合計	△15,004	△3,554
新株予約権	2,305	2,294
純資産合計	3,377,943	3,173,369
負債純資産合計	5,428,668	5,391,314

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,657,285	1,434,167
売上原価	1,849,653	621,587
売上総利益	807,632	812,580
販売費及び一般管理費	373,771	626,721
営業利益	433,860	185,858
営業外収益		
受取利息	—	1,028
助成金収入	14,513	—
雑収入	25	508
その他	—	83
営業外収益合計	14,539	1,620
営業外費用		
支払利息	1,753	1,904
その他	145	2
営業外費用合計	1,898	1,906
経常利益	446,501	185,572
特別利益		
事業譲渡益	4,755	—
特別利益合計	4,755	—
税金等調整前四半期純利益	451,257	185,572
法人税、住民税及び事業税	131,754	47,690
法人税等調整額	8,675	15,368
法人税等合計	140,429	63,059
四半期純利益	310,827	122,513
親会社株主に帰属する四半期純利益	310,827	122,513

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	310,827	122,513
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,670	11,450
その他の包括利益合計	2,670	11,450
四半期包括利益	313,498	133,963
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	313,498	133,963
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

当第1四半期連結会計期間において、CARAFUL株式会社の全株式を取得し完全子会社化したため、連結の範囲に含めております。

また、2023年3月末時点で持分法適用の関連会社としていた一般社団法人涼香会について、当第1四半期連結会計期間において、追加の資金貸付等の取引が発生し、当社が支配力を有することとなったため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	マーケティング 事業	インバストメ ント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,324,029	333,256	2,657,285	—	2,657,285
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,324,029	333,256	2,657,285	—	2,657,285
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	367,726	93,535	461,261	△27,400	433,860

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額△27,400千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	マーケティング 事業	インバストメ ント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,406,244	27,923	1,434,167	—	1,434,167
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,406,244	27,923	1,434,167	—	1,434,167
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	187,750	27,448	215,199	△29,340	185,858

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額△29,340千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

（社債の引受け）

当社は、2023年7月18日開催の取締役会において、アポロブリッジ合同会社との間で第35回無担保普通社債引受契約を締結することを決議し、2023年7月19日付で締結し、2023年7月26日に取得が完了いたしました。

（1）目的 純投資

（2）契約の時期 2023年7月19日

（3）第35回無担保普通社債の内容

①発行会社	アポロブリッジ合同会社
②発行総額	1,100,000千円（1口 100,000千円）
③引受口数	9口
④社債利息	年率6.0%
⑤償還の方法及び期限	満期一括償還。2024年1月26日にその総額を額面100円につき金100円で償還する。
⑥払込金額	900,000千円